

平成31年1月24日

「南区コミュニティ・コーディネーター育成講座」の視察について

氏名 杉山 節子

- 1 訪問日 平成30年11月21日(水)・平成31年1月23日(水)
- 2 会場 新潟県立白根高等学校・白根学習館
- 3 対象
 - ・同世代の割合が高い「南区大通地区」について、シルバー世代の住民同士が互いにコミュニケーションを深めるための取り組みを視察した。
- 4 運営団体 白根地区公民館

5 活動の概要

- ・地域の高齢者が抱える課題に現役の高校生が目を向け、交流や意見交換を通して、高齢者が抱える課題の解決に共に取り組もうとしている点が注目される。
- ・高校生は、住民が日常生活で実際に体験した様々な難を取材して整理し、また住民らは自ら積極的に外に出て活動したいという熱意を持って互いにコミュニケーションをしていた。

6 活動にみえる「次世代育成」

- ・高校生たちの現状分析や提言は、まだ決して十分なものとはいえない。しかし、若い世代が地域の実情や高齢者が抱える課題に目を向け、その解決方法を見出そうと、自分や家族との経験やグループ内での議論を通して、考えを深めていくこの活動の意義は大きい。
- ・様々な伝統行事や地域住民の交流の希薄化など叫ばれて久しいが、まずは若い世代が地域の現状を知り、課題解決に取り組むこのプロジェクトは、大いに評価できる。

7 今後に向けて

- ・世代を越えた交流が希薄となり、同世代の交流に終始している現状は、望ましい社会形成とは言えない。今回視察したような取り組みを他の地域でも実践し、その過程をしっかりと市民に伝え、広めていくことが大切である。
- ・このような活動を実践した高校生が評価され、社会的にも価値ある行動として認証されるシステムも必要と考える。

以上